

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2006-50389(P2006-50389A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-230510(P2004-230510)

【国際特許分類】

H 0 4 L 29/08 (2006.01)

H 0 3 M 7/30 (2006.01)

H 0 4 B 1/74 (2006.01)

H 0 4 N 5/268 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

H 0 4 H 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 13/00 3 0 7 C

H 0 3 M 7/30 Z

H 0 4 B 1/74

H 0 4 N 5/268

H 0 4 N 5/44 Z

H 0 4 N 7/13 Z

H 0 4 H 1/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月27日(2007.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

伝送レートが異なる複数の伝送信号を切換選択する信号変換装置において、

前記伝送信号の伝送レートを変換する伝送レート変換手段と、該各伝送レート変換手段の出力の位相を合わせるように制御する位相制御手段を備えたことを特徴とする信号変換装置。

【請求項2】

請求項1記載の信号変換装置において、

前記伝送レート変換手段は、前記伝送信号に含まれる映像データの書き込み、読み出しが行われる記憶部と、無効データの読み出しが行われる無効データ記憶部と、前記映像データの読み出し時の伝送レートが書き込み時よりも高い場合で前記記憶部に蓄積された前記映像データが所定量未満になったとき代わりに前記無効データを読み出すように制御する制御部を備えたことを特徴とする信号変換装置。

【請求項3】

請求項2記載の信号変換装置において、

前記記憶部は現用と予備用とを有し、前記現用、予備用の記憶部毎に前記映像データの読み出しを制御する現用、予備用の前記制御部を夫々備え、現用の制御部が前記位相制御手段として予備用の制御部を制御し、現用及び予備用の記憶部から読み出された前記映像

データの位相が一致するように構成したことを特徴とする信号変換装置。